

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN



平成 25 年 (2013)
御鎮座950年式年大祭

平成 26 年 (2014)
皇紀 2674 年

平成26年 わかば祭り(春の大祭)号【第99号】
<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

まつりは神々への「おもてなし」	2 頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内	3 頁
御鎮座950年奉祝 記念事業・ご奉賛	5 頁
杜の話題	6 頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	9 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10 頁
わかば祭り社頭風景	12 頁



今年も春の訪れを告げる境内手水舎横の辛夷の花が咲き初めまふと、隣の染井吉野も負けじと妍を競う様に薫り萌え生ずる若葉青葉の好季節が巡つて参ります。昨年は5月5日に御鎮座九百五十年の式年大祭を厳肅裡に賑々しく盛大に斎行させて頂き、はや一年が過ぎようとしております。

その余光の輝く今年は、平年に戻りわかば祭り（春の大祭）をご奉仕させて頂きます。特にご皇室を中心とする我が日本国の更なる隆昌と世界の平和をご祈念させて頂きまふと共に、五穀豊穣はもとより

のこと、あらゆる産業の繁昌とご家業の繁栄に併せて氏子・崇敬者のご家庭の平安をお祈りさせて頂きまふ。春のお祭りは、秋のお祭り・新嘗祭（にひなめのまつり）と一対の祈年祭（としごひのまつり）と同じ祭りでもあります。春に稲

（奥津御年）を始めとする五穀の豊穣を祈り、秋にその收穫に感謝するお祭りが一対となっているのです。又、秋の大祭（大宮八幡祭り）が盛大に斎行されますようお祈り致します。

御鎮座九百五十年式年の記念事業の推進については、奉賛会実行委員会を中心に氏子6地区の実行委員の皆様により、経済情勢の厳しい諸事情の中ではありますが、本事業が達成される様、各町内の氏子・崇敬者の皆様は格段のご奉賛の勸募活動を積極的に執り進めて頂いておりますことを有り難く感謝致しているところでございます。

区役所への許認可事項の関係もあり、大変遅れておりましたが、外拝殿北側のバリアフリー化に伴うスロープ工事が初詣過ぎの去る1月16日より着工されております。2月に



記録的な降雪の時もあり、在来木の樹根を保護し、養生する為の工夫を凝し乍らの施工作業であります。5月のわかば祭りが

には全容が整う手筈で進められております。

此度の当宮役員総代各位の任期満了に伴い、4月1日付けで役員総代が選出されます。新しい陣容の基に平成26年度の祭典行事・事業活動が始まります。当宮御鎮座九百五十年式年の記念事業をご推進頂く奉賛会の実行委員会も引き継がれてまふので、記念事業が達成されますようご尽瘁賜り、又今まで同様にご神徳の宣揚に、氏子・崇敬者の平安の為に力添え下さいまふすようご協力、ご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

まつりは油々への「おもてなし」

宮司 鎌日 紀彦

先般、東京五輪誘致のプレゼンで、日本人の「おもてなし」のことが大きく紹介されました。この「おもてなし」の原点は神祭りにあると思っております。

我が国は嘗て豊葦原瑞穂国と呼ばれていた様に、農業立国であり、地域の村人等は、共同で作業をしながら春に五穀豊穣を神々に祈り（祈年祭）、秋にはその実りに感謝するお祭り（新嘗祭）をして来ました。又その時に取れた、稲の初穂や山幸海幸・農林水産物の初ものを神々にお供えし、真心を尽くして感謝の「おもてなし」をして、その供え物を神々よりお下がりとして戴きました。

「食べもの」の語源は、神々よりの「賜わりもの」と云われております。神々と同じものを戴き、神人共食して、神々よりさらなるお力（生命力）（恩恵）を頂いて来たと言う信仰生活であります。

平安時代の節会が、江戸時代に節句【正月7日（人日）、3月3日（上巳）、5月5日（端午）、7月7日（七夕）、9月9日（重陽）】となり、元来は「節供」で節日に供えるもの、或いは供えることであります。そのときに採れた旬の最上のものを神々に調理してお供えし、真心からの最善を尽くして神々を接待し「おもてなし」をして来ました。

謂わば神々に、季節の旬のものを調理して、「おもてなし」をして、神々と共に食事をすることが「まつり」であり、神事であった訳なのです。そこには当然乍ら神々への感謝の気持ちと祈りが込められておりました。又皆で行う季節折々の年中行事（祭）には、共同意識も芽生えて参ります。

人々は共同作業をしながら、神々へ「おもてなし」をするのに相応しい最上のものを作る為に、祈り良く働きまふ。改良し、工夫し、努力を重ねて行く内に、ものづくりが上手になり、勤勉で、真面目であり、細やかな気配りや協調性、助け合いの互助精神、強い地域の絆と云った日本人特有の国民性が生まれてまふ。

因に食べもの（神々よりの賜りもの）は、全て生命の有るものばかりであります。その生命のあるものを戴いて私どもは生き長らえております。食前感謝のことは、作って下さる方々への感謝はさること乍ら動・植物の「生命あるもの」を頂戴しておりますので、「戴きます」と云うのが本来と思っております。

もとより私共の神明奉仕は八幡大神様の広大無辺なご神恩に感謝して、更なる神々のご神威（御働き）を祈り、その御働きが発揚されますようお手伝いし仲執り持ちしをさせて頂いているのであります。そのおもてなし（奉仕）の精神として

明治天皇御製
「おのが身はかへりみずして人のため
尽くすぞ人のつとめなりける」や
比叡山開祖の伝教大師のことは
「忘己利他、慈悲ノ極也」

に相通じる、誠に謙虚な奉仕の精神が説かれておりますが、これこそが奉仕の原点であると思っております。

私どもも今年のわかば祭りに、奉祝の神賑行事を含め仲執り持ちとして、誓いも新たに神々への最善の「おもてなし」のご奉仕の誠を捧げて参りたいと思っております。表参道には、恒例の春の風物詩「大宮八幡 植木市」も開かれます。多くの氏子・崇敬者のご参詣を頂き、更なるご神縁を重ねられますようお祈り申し上げます。

（平成26・3・29記）

– 3 –

昭和祭斎行

4月29日（昭和の日）、午前10時より昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げる昭和祭が斎行されます。

昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕され今回で8度目を迎えます。当日は、宮司以下祭員奉仕により、中祭式により厳肅に執り行われます。



大宮八幡 植木市

大祭期間中、表参道では新緑の風物詩「大宮八幡植木市」が3日～5日の間開かれます。陽光降り注ぐ参道に並べ



苗木授与と献木のお願い

5月4日（みどりの日）午後2時より、第65回全国植樹祭に因み、当宮みどりの会主催で植樹祭が斎行されます。祭典後、各家庭にも緑を広げる運動の一翼として、植樹祭の祭典にご参列の方々先着200名様に苗木が授与されます。

られた新緑の苗木や色とりどりの花々、園芸用品などを求め、多くの方々が訪れます。またこれら植木の他にも、露店なども出ております。

第36回 稚児行列巡行

3日午後1時半より第二日ノ儀こどもの祭り（稚児健康祈願祭）が斎行され、社殿前での記念撮影の後、吹奏楽を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどろ会役員の供奉、お稚児さん達、BS・GS、そして飛び入り参加自由の太鼓山車曳きの子供達など総勢400人超の行列が、神門を出発し、当宮周辺13キロを巡ります。



また、お稚児さんは神々の依代として奉仕することにより、健やかに成長されると言われています。

また、緑を失うことは国土の荒廃を招き、人の心をも濁らせます。ご社頭では春に芽吹く緑に人々の心の清らかさと心の潤いを願い、鎮守の杜の緑を守り育てようと、皆様方よりの献木のご協賛を承っております。

献木初穂料 一口二、〇〇〇円

※年中を通じて承っております

若葉inおのみや

4日の午前11時15分より第二日ノ儀斎行の後、神楽殿において第14回「若葉inおのみや」が公演されます。本年は、神話を題材にした創作舞踊の山崎雅子氏です。敬神婦人会の新年会でも、神話を題材とした舞を披露されております。毎年多くの方々にお楽しみいただき好評を博しております。ご自由にご陪観出来ますのでお誘い合せの上お越し下さい。



次いで結婚式場清涼殿にて、第14回「拳武者の集い」を開催。当宮にて婚礼を挙げた皆様が一同に集い楽しい一時を過ごされます。

献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中多くの参拝者をお迎えするに当り、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂き度く存じております。つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

掲出期間 4月29日から5月18日まで
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円

申込締切 4月20日（郵送は19日必着）

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

第15回 裏千家献茶式

5月14日（水）午前10時より第15回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵藤雲斎千玄室大宗匠（先代15代家元）のご奉仕で行われます。

祭典では、宮司の祝詞奏上に続き、大宗匠のお手前により濃茶と薄茶が厳かにご神前に献じられます。



また早朝より、境内では奉賛添釜茶会も開催され、本年は淡交会東京第7西支部の担当主催で行われます。

また大宮幼稚園では、幼稚園茶席も開かれ、園児らが日頃の練習の成果を披露し、緊張しつつも可愛いお作法でお茶が点てられます。



※複数燈でも承ります



表参道石階段クネット手摺取り付け工事竣工

12月1日の師走朔旦祭に併せて、表参道の（一の鳥居・二の鳥居）石階段に高欄風手摺り（アルミ）とクネット手摺りを設置するバリアフリー整備工事の起工奉告祭が斎行され、翌日には表参道石階段前に齋場を設け、工事の起工清祓式が執り行われました。

御社殿バリアフリー（北側）整備 スロープ設置工事 工事中

御鎮座九百五十年記念事業の第一期事業中、最も大規模な事業である、御社殿向拝バリアフリー（北側）整備、スロープ設置工事の起工奉告祭が1月15日の月次祭に併せて斎行され、続いて現場となる北側階段下に移動して、宮司以下祭員の奉仕により清祓が行われました。五本木奉賛会実行委員長を始め、内山・瀬沼責任役員、川上総代また（株）アルセッド建築設計所以下工事関係者多数の参列のもと、無事の完成を祈りました。

又5月中旬より引き続き外拝殿石階段屋根掛工事、及び御社殿向拝階段手摺り（南・北）増設、バリアフリー整備として登り高欄（檜）及びクネット手摺り設置工事も開始されます。ご参拝の皆様には、暫くの間工事の関係で色々とご不便をお掛け致しますが、何卒ご容赦下さい。

そうして約3週間の工期を経て、12月26日、表参道の石階段には真新しい手摺りが完成。五本木奉賛会実行委員長を始め、鎌田宮司・奉納者の青木龍雄総代と有間睦子氏、また工事関係者からも参列し、竣工清祓式を斎行。続いて本殿にて工事奉告参拝がなされました。



工事の進行状況

- ① 1月15日 清祓の様子
- ② 2月下旬 スロープ部の鉄筋を組む
- ③ 3月中旬 在来木の樹根養生
- ④ 4月初旬 スロープ横タイル貼り



御鎮座九百五十年記念事業 ご奉賛のお願い

記念事業の主な概要

- 第一期事業
御社殿向拝バリアフリー（北側）整備 スロープ設置工事（※現在進行中）
- 御社殿向拝階段（南・北）屋根掛け工事
- 御社殿向拝階段手摺り（南・北）増設
- 登り高欄（檜）及びクネット手摺り設置工事
- 南参道鳥居扁額の補修工事
- 弓道場振武殿改修工事
- 表参道石階段手摺り（二の鳥居・三の鳥居）バリアフリー整備
- 高欄風手摺り（アルミ）及びクネット手摺り設置工事
- 御社殿内拝殿御帳・外拝殿及び神門門帳の新調
- 表参道大幡ポール（二対）設置工事
- 結婚式場清涼殿階段バリアフリー整備
- 結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事
- 結婚式場清涼殿ロビー・階段 カバー・張替工事

- ※青文字の事業は、既に工事が完了した事業です。
- 祭典費・記念品費・事務費等諸経費 合計九〇〇万円
- 第二期事業
結婚式場清涼殿バリアフリー整備
- エレベーター設置工事
- トイレ改修等バリアフリー付帯工事 合計五四〇〇万円
- 総事業費 一億五三〇〇万円 大宮八幡宮奉賛会

ご奉賛金の勧募

一口（壹万円）以上お願い致します。
尚、五口以上ご奉賛の方々は記念の石碑にお名前を刻し永久に保存させて頂きます。また、一口以上ご奉賛の方は、受付後芳名板に版札に随時お名前を提出させて頂きます。



御鎮座九百五十年式年 奉賛者芳名簿（その5）

平成25年12月2日〜平成26年3月31日 （※二万円以上のみ掲出 敬称略、順不同）	
大宮地区	一 金参拾萬圓
一 金壹萬圓	野村 四郎
赤羽 清子	キヤミモミヤ（株）
増淵 吉正	袋蔵製機博樹
朝比奈 美知子	一 金壹拾萬圓
方南北地区	山崎製パン（株）
一 金壹萬圓	杉並工場
綿貫 武	一 金七萬圓
倉本 康弘	永和 幸子
松ノ木地区	大田 佳子
一 金伍萬圓	（計貳拾萬圓）
江口 陽子	一 金六萬圓
一 金参萬圓	山田 久仁
峯岸 誠	丹治 渚
一 金貳萬五千元	小林 佑季子
高柳 信男	（計九萬圓）
和田東地区	一 金伍萬五千元
一 金壹拾萬圓	三宅 由子
和田耕一	三宅 勲
（計貳拾萬圓）	一 金伍萬圓
安藤 順恵子	秋田 千代子
（計六萬圓）	渡辺 広
社務所扱	山田 正壽
金一封	藤田 育司
鎌田 紀彦	中島 裕介
（追加分）	中島 裕香
一 金壹百萬圓	中川 哲
（株）ツジデン	金源 萬
食辻 武信	（株）阿部産業
	袋蔵 阿部勝吉
齋藤 統一	齋藤 統士
齋藤 征士	大島 英彦
勝山 和樹	鎌田 龍彦
（計壹拾萬圓）	一 金参萬圓
小坂 昇	（計四萬圓）
三浦 葉子	一 金貳萬圓
新保 隆子	一 金壹萬圓
早船 由里子	（計貳萬圓）
龍 けい子	宮田 則子
宮崎 良文	三浦 百合子
馬場 一嘉	二村 裕治
鈴木 祐輔	鈴木 博貴
木村 篤	犬木 宏則
山中 晶子	山崎 浩太

杜の話題

初春の社頭

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす初太鼓の響きが新年の訪れを告げました。同時に社殿正面の神門が開かれ、参詣の長い列が続きました。拜殿では、観世流能楽師の野村四郎氏に依る神能「翁」が奉納され、**新春厄除開運大祈禱祭（二番祈禱）**が宮司奉仕により斎行。続いて、新春初祈禱祭が順次奉仕されました。明けて午前8時より**歳旦祭**が行われ、皇室国家の安泰・世界平和・氏子の安寧が祈念されました。2日午前、弓威により一年の邪気を祓う**小笠原流新春除魔神事 昼日の儀・大的式**が行われました。3日には皇位の大元を寿ぐ**元始祭**が斎行され平成26年が始まりました。

永職会例会が当宮で

永職会の第103回例会が去る1月27日の午後、当宮で催されました。永職会は累代社家に生まれ、祀職を継ぐ全国の有志により結成された団体。例会には**千代尊祐会長**（出雲大社宮司）等全国会員20余名が出席。会長挨拶



拶のあと議事に入り、12月8日にホテルで実施された語り舞台ハワイ公演『神話と移民物語の夕べ』の開催報告、また真珠湾慰霊式典参列報告などが行われました。

古式に基づく追儺神事 節分祭 斎行

2月3日節分の日。当宮では午前10時より一年の邪気を祓う**節分祭**が斎行されました。宮司祝詞奏上の上と追儺の儀が行われ、桃の弓、葦の矢で天・地・人に潜む魔障を退散させました。



次いで豆撒き神事が行われましたが、近年ご参拝の皆様が多くなつたことから、今回は鬼のお面を被つた大宮幼稚園園児たちによる豆撒きと、参拝者の豆撒きの二部に分けて実施されました。

大宮稲荷 初午大祭

稲荷大神様は稲成り、即ちお米を始めたとする五穀豊穡を司る尊い御饗津神として篤く信仰されています。当宮境内の大宮稲荷神社ではこの尊い稲荷大神の大祭**初午祭**が2月初午の日の4日午後、皆様より奉納された真新しい朱色の幟りがはためく中、宮司以下祭員により奉仕されました。尚、当社には姉妹神社竹駒神社の御神札もお祀りされております。

責任役員・総代改選

責任役員・総代の任期満了に伴い、4月1日付で新総代として定員40名中38名（内31名重任7名新任）が選出され、同日午前10時よりの朔旦祭に併せ総代就任奉告祭の後、ご神前で宮司より委嘱状が各総代に伝達されました。又同日午後4時より、改選後初めての新総代会を開催。神社規則第10条により、先ず責任役員を選出、次いで議長団・監査が選出され、新議長により平成26年度事業計画並びに収支予算報告の件等の議件が諮られ、満場一致で承認されました。任期は、平成26年4月1日より平成29年3月31日迄の3年間です。

紀元祭並 橿原神宮遙拝

2月11日は旧紀元節。初代神武天皇が橿原の宮に即位された我が国建国記念の日です。当宮では午前10時より先ず社殿にて**紀元祭**を斎行し、次いで清涼殿特設齋場にて**橿原神宮を遙拝**。「紀元節」の歌を斉唱し、聖寿萬歳を三唱して、皇紀2674年前のその上を祝い、直会も賑々しく行われました。



大宮八幡宮 新役員・総代 代表役員 宮司 鎌田 紀彦

責任役員

五本木 徳治
藤枝 宏友
岩崎 太良
内山 誠
瀨沼 宏章
玉村 恭男

議長団

青木 龍雄
吉間 武彦
葉梨 俊郎

監査

笠原 紀一
松島 憲章
鈴木 憲章

総代

五本木 徳治
荒井 昭雄
関井 勝雄
青木 龍雄
根岸 賢治
末柄 哲男

方南南地区

三枝 栄治
相川 貞雄
三枝 治
吉間 太郎
丸山 誠男
内山 誠男

方南北地区

岩田 文雄
岩崎 良夫
齊藤 美三
鈴木 修
細野 三

和田東地区

梅田 清彦
横尾 信央
佐野 晃
岩船 守一
笠原 紀男
玉村 恭男

和田西地区

飯高 静男
浅川 宏友
藤枝 博
梅田 純一郎
森川 俊

松ノ木地区

松島 忠一
太田 正男
松沼 武治
瀬沼 宏章
松島 敏夫
井川 邦夫
小川 次郎

相談役

高橋 住雄
田木 城夫
堀ノ内 熊野
兼務神社総代会長

成宗白山神社

成宗 達雄
岩田 和保
尾崎 雄次
安藤 雄次

新春社頭往来

1月1日 立正佼成会会長 庭野日鏡氏他
五摂家一條家当主 一條實昭氏
救心製薬(株)社長 堀 正典氏
1月2日 小笠原流宗家 小笠原清忠氏
明治神宮権宮司 男成洋三氏
(明治神宮崇敬会理事長)
1月6日 東京都神社庁庁長 松山文彦氏
東京大神宮宮司
1月7日 井草八幡宮宮司 宮崎昌文氏
1月8日 乃木神社宮司 加藤司郎氏
乃木神社前宮司 高山 亨氏
1月10日 大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏
1月11日 環境大臣 石原伸晃氏
衆議院議員
1月20日 日刊スポーツ新聞社取締役 豊岡哲明氏他
1月26日 杉並消防署長 浅見茂氏他

東日本大震災復興祈願祭

東日本一帯に未曾有の大災害をもたらした大震災から3年を数えました。甚大な被害の傷跡は大きく、まだまだ復興もままならない現状ですが、ニュースなどでの情報が減り、被災地との温度差が広がっています。



当宮では「私どもは3・11を忘れません」と掲げ、当日3月11日朝の日供祭では復興祈願の祝詞を奏上し、職員・一般崇敬者らと共に、大祓詞三巻を奉唱しました。又、地震発生時刻である午後2時46分に、境内ご参拝の皆様と呼びかけ、全員でご社殿前に並び、犠牲となられた方々への1分間の黙祷を捧げました。

杉並区宗教者懇話会 震災復興募金活動奉仕

去る3月17日、JR阿佐ヶ谷駅南口噴水広場にて、杉並区宗教者懇話会(代表幹事鎌田宮司)主催・杉並区後援による、「3・11東日本大震災支援活動」として「募金活動・東北物産展」が行われました。宗教者懇話会は、神道・仏教・キリスト教・イスラム教・新宗教など諸宗教者が、共に交流し世界平和に貢献するべく結成された会で、今回は東日本大震災の復興の一助と



なるべく杉並区の宗教者らが集い、駅前街頭に立ち復興支援を呼びかけました。また、東北物産展も開催され、道行く人が足を止め、東北の特産品を買われて行かれました。寄せられた義援金は、杉並区を通して、同区と姉妹都市の福島県南相馬市に寄贈されました。

新春伊勢参宮旅行

昨秋遷御ノ儀が行われた神宮を参拝する参宮旅行が3月11日・13日に行われました。二行42名は、まず伊勢に向かい、新外宮で御垣内特別参拝、古殿地を拝観後、せんぐう館を見学。次いで新内宮で御垣内特別参拝の後、御神楽を奉納。新しいご正宮と旧ご正宮の並び立つ20年に一度の貴重な神宮参拝を致しました。その後、泉質の優れた榊原温泉に宿泊。翌日は、奈良に向かい女人高野の室生寺を参拝、執事長よりご挨拶を賜りました。次いで橿原神宮を正式参拝、春日大社を参拝の後、東大寺の修二会(お松明行事)の会場一円堂に立ち寄り、奈良パークホテルに宿泊。最終日は、生憎雨となりましたが石清水八幡宮を正式参拝の後、世界遺産の宇治上神社を参拝。宇治川沿いで京料理を楽しみ、京都駅より無事帰途に着きました。



戌の日詣りは 子育て八幡さまの当宮で

安産祈願のご祈禱を!

※戌の日以外でも随時受け付けております
ご祈願の方には安産腹帯(岩田帯)と共に、へその緒(結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますように)の願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵巻」を特別に授与しております。

戌の日早見表

(平成26年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
12日(金)	7日(木)	2日(水)	8日(日)	3日(土)
24日(水)	19日(火)	14日(月)	20日(金)	15日(木)
	31日(日)	26日(土)		27日(火)

は大安の日です

十三参り祈願のご案内

古来より数えで13歳になった少女が盛装して氏神様やお寺に参拝し、お祓いを受ける行事です。13歳という年齢は自分の生まれ「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるためにご祈願致します。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

姉妹友好神社 竹駒神社例祭参列

当宮と姉妹友好神社の竹駒神社の初午大祭例祭に並びに午歳御縁年記念大祭が、3月16日に斎行され、当宮より鎌田宮司、藤枝・瀬沼責任役員らが参列致しました。

前日の夕刻、秋保温泉「佐勘」で、ご招宴に預かり、竹駒神社千葉宮司様や森役員様・渡邊総代様方との友好と親睦を深めました。



高千穂大学杉並校地再構築・新校舎建設計画地鎮祭

当宮に隣接する高千穂学園は、この度新校舎を建設するにあたり3月22日、当宮宮司以下祭員奉仕により地鎮祭が斎行され、高千穂学園藤井耐理事長、前田建設工業(株)など25名が参列しました。



勸学祭・ランドセルお祓い式

小学校入学を祝い、お子様の成長を祈念する「勸学祭・ランドセルお祓い式」が3月29日と30日

の両日、午前10時30分より行われました。

希望に胸躍らせた新1年生の子供たちが神秘的な面持ちでお祓いを受けました。



桜まつり「夜桜の神遊び」

桜が花開く春先になると当宮境内を始め、和田掘公園(旧境内)一帯の善福寺川沿いの数千本の桜が一斉に開花します。当宮では開花に合せて3月29日から4月6日まで「桜まつり」



氏子青年会だより

当宮「氏子青年の集い」が去る2月23日午後に行われ、当宮氏子青年会員の他高円寺氷川神社、馬橋稲荷神社の各氏子等60名が出席。社殿での正式参拝に続き、清涼殿にて式典。神宮遥拝、氏子青年綱領が唱和された後、井川会長が挨拶。宮司挨拶に続き田中杉並区長はじめ来賓の皆様よりお言葉を頂きました。続いて懇親会に移り兼務神社の白山睦会や堀ノ内若睦会との交流(挨拶)も行われ、和やかな内に集いが進められました。

が行われました。期間中の土曜(29日・5日)に神楽殿では、「夜桜の神遊び」(神楽舞)が奉納されました。土曜・日曜は午後8時まで開門して和田掘公園への往来も自由に、篝火の炎に浮かび上がる幻想的な夜桜に酔いしれました。

毎月・お朔日参りを
致しましょう

毎月1日 朔旦祭
毎月15日 月次祭
毎月25日 大宮天満宮月次祭
(ご来宮は自由にお参り出来ます。)

りんどう会だより

当宮敬神婦人会(りんどう会)では、1月15日のどんどこ焼き神事に併せて、新年初めての活動として恒例の「厄除ぜんざい」奉仕。多くの参詣の方々に、ご神火で焼いた福餅の「ぜんざい」をお召し上がり頂きました。続いて、2月13日に新年会が開催され、社殿での参拝の後、清涼殿にて楽しいひとときを過ごし親睦を深めました。

又、昭和祭前日の4月28日には、わかば祭りを迎えるに当たり御垣内清掃奉仕が行われ、会員らの手により落葉が掃き清められ、御垣内の隅々まで拭き上げられます。

同会では随時会員を募集しております。ご入会希望の方はお気軽に事務局(社務所)へお申し出下さい。

お朔日参り
「月参り御幣守護」を授与

当宮では古くより朔旦(1日)、15日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月1日の朔旦祭に合わせてお朔日参り「月参り御幣守護」授与の祈禱を奉仕しております。



BS・GSスカウト募集

大宮八幡宮が育成母体

ボーイスカウト 杉並13団
ガールスカウト 東京62団

スカウト募集中

小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

親子で野外体験会開催

毎年恒例「親子で野外体験会」が、2月23日に当宮スカウトの森にてボーイスカウト杉並13団のスカウトやリーダーらにより開催。参加者は共に楽しみながらスカウト活動の一端に触れました。



大宮八幡の杜 春から夏へ

水無月夏越の大祓

6月30日午後4時より恒例の夏越の大祓が神門前参道広場で斎行されます。大祓は、古来より国の祓いとして6月と12月の晦日に行われ、人々が知らぬ間に犯した罪や穢れを祓い清める神事です。

先ず神職が大祓詞を宣読し、各自切麻で自己祓いをして、人の形をした形代で全身を撫で、息を3度吹きかけて心身の罪穢を移して祓い清めます。



次いで「水無月の夏越しの祓する人は、ちとせの命のぶといふなり」と唱えつつ、茅の輪を左右左と3回くぐるにより更に祓い清められます。

大祓詞浄書（水無月書写会）

おぼろえことは

今年も6月20日より28日までの9日間、夏越の大祓に併せ、当宮敬神婦人会（りんどう会）と共催で大宮八幡塾「水無月書写会」（大祓詞書写会）が開催されます。

この書写会は「大祓詞」（約900字）



を書写し、ご神前に奉納することにより、心身が清められ、大神様のご神徳を戴くもの。大人だけでなく、お子様も一緒に参加頂きますよう、神職がお祓いの際に奏上する「祓詞」（約90字）や、ひらがなのみの簡単なお祓いの言葉もあります。

平安の雅第16回乞巧奠飾りと大宮八幡乞巧潜り神事

7月1日より15日の間、技芸上達を願う第16回「乞巧奠飾り」を清涼殿ロビーに展示致します。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕「大宮八幡乞巧潜り」も設けられます。



期間中の土曜日、5日と12日の午後5時より乞巧奠飾り前にて職員による雅楽演奏会「雅楽の夕べ」が催され、七夕7日の午後6時より「七夕の神遊び・技芸上達祈願祭」を奉仕。参列の方々と共に乞巧潜りを3度潜る「大宮八幡乞巧潜り神事」を斎行致します。そして神門には大笹竹が立てられ、短冊に願いを込め自由に結んで頂きます。また期間限定にて乞巧守りが授与されます。



納涼大宮天神こどもまつり

天神様のご縁日7月25日、当宮夏の風物詩第14回「納涼大宮天神こどもまつり」が、境内大宮天満宮で行われます。

前日24日及び当日の午後5時より、当宮氏子青年会による模擬店がオープン。前日午後5時半より宵宮祭を斎行。明けて翌25日午後5時半より大宮天神祭を斎行。祭典後には参列の子供たちにより「こどもあかり神輿」が元気に担がれます。又、境内では「杜のひびきinおみや」（時間を外した日の祭事）」と



春の大祭後の主な行事

御嶽様名神社例祭	5月16日
第35回大宮つき展	5月下旬〜6月上旬
大祓詞書写会	6月20日〜28日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第16回乞巧奠飾り	7月1日〜15日
大宮八幡乞巧潜り神事	7月7日
七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）	7月7日
雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞）	7月5日・12日
第14回納涼大宮天神と参り書画行掲出	7月25日
第14回杜のひびきinおみや和太鼓演奏	7月25日
多摩清水社例祭（水神祭）	8月1日
第31回戦没者慰霊祭	8月15日
第14回十五夜の神遊び	10月5日

して和太鼓の奉納演奏が行われ、また神門前広場では「子供のミニ花火の集い」も催され、夕涼みの親子連れの皆さんで賑わいます。



第31回戦没者慰霊祭

終戦の日の8月15日正午より第31回大宮八幡宮戦没者慰霊祭が、同実行委員会主催により斎行され、氏子出身戦没者329柱のご英霊の御霊和めの祭典が奉仕されます。

大宮八幡祭り（秋の大祭） 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り（秋の大祭）は左記の日程により斎行されます。

*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月12日（金）に斎行する

*宵宮祭は9月13日（土）に斎行する

*氏子奉幣祭、

神輿合同宮入りは9月14日（日）に斎行する

*例祭は9月15日（祝）に斎行する

*神輿神霊返し祭は9月16日（火）に斎行する

初宮詣り名簿

(平成25年11月24日〜平成26年3月23日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

中島汐莉 平野楷 岡岡和樹 藤田一規
高野恵梨 平石愛衣 小林恵菜 飯野達貴
宮武結衣 佐藤友香 潮田真那 橋本蜜姫
野部翼 角田優月 森下絢音 濱田恵美花
伊藤なみ 中丸岳 塚田旭晴 近藤福音
稲葉楓 岩崎実織 入江剛太郎 鈴木成将
齊藤結翔 岡村一花 浦悠人 金井樹里在
鄭榮秀 鶴谷樹生 鷹巣まりあ 石田柳月
杉原彩心 山崎優 中本佐希 家田凜子
大村眞生 半澤一織 中村悠 中山翔太
土屋菜樹 杉村夏寧 山口蒼太 佐藤築
玉田洸汰 石本紗也 山田悠文 黒田華菜
山本大貴 大久保颯真 佐川琴音 上原小奈
秦圭杜 宇田成惺 金子七海 八反出啓太
須山大雅 加藤大暉 坂本恵 上月璃沙
長谷川瑛汰 岡野大慈朗 村松咲空 三宅由莉
川又優十 小貝武蔵 寺中晟士 堀内佑馬
魚田歩夢 林将生 杉原晴之助 尾崎由奈
山道湊祐 森屋颯太 橋本朋宜 殿城由真
山崎美月 副島孝喜 与那領良汰 佐藤全昇
南雲讓 齊藤尚仁 青山楓花 黒澤紡
河野龍誠 生駒侑子 篠沢美依 藤本新
橋爪佑都 妹尾灯哩 矢野愛衣 妹尾歩岳
藤井心暖 辰野颯 宮本騎成 牧野蒼祐
阪野優那 吉野元晴 大石結 渡邊かりん
藤田恵麻 赤石蓮 古澤真琴 吉本京介
今井花音 大江晴喜 重政杏 大川原翼
樋川凜 大村遙空 小野彰斗 羽田順一
藤塚晴郎 高安悠史 根岸将大 谷内順一
松原心葉 高橋美音 川島和加 河口英郎
長谷川湊音 矢田寧々 栗原楓 榎本篤
石崎さらは 松澤翔 高柳紬 藤内颯太

古閑瑞季 須崎のどか 吉川慧 土屋陽
前嶋奏奈 古谷和暉 小山丈助 山崎慧
長谷川陽一 湯本由莉 島田耀士 杉林真紘
奈良夏希 新貫ひなた 原田悠花 安江優衣
石原麻理奈 吉村崇 畑本あゐ 田所泰祐
武井一晋 小笹利恩 今楓望弥 宇佐美花歩
西出彩乃 玉野羽希 北原悠毅 羽多梵然
迫大河 志賀こはる 日野恵美理 松山莉奈
中島煌午 内村百音 山本周 松本輝希
渡部真由 松永理子 松崎稔弥 橋本悠佑
牛尾彩咲 加藤智恵 石渡身優 平林奏人
倉本星 柳井鉄平 直井里穂 中村帆花
櫻川壮太 池部風 栗栖向輝 早川舞緒
高橋正次郎 福田紗夕 井出葵渚 武井詩音
河村晃希 白石琴音 高良華子 佐々木優心
山本彩愛 小橋川佳人 富高里空 赤羽良光
新實肇 横木憲正 藤本花澄 矢吹葵唯
藤岡咲歩 吉川ほなみ 中野杏南 沢永瑛都
成田紘翔 根本倫太郎 橋川咲良 西谷虎
荒井瑞咲 信田尊 高須賀多朗 東郷依和
林端美奈 南聡一郎 高橋杏奈 宮代紗良
富田悠朗 原田すみれ 安保遼一 佐藤智之
野村佑愛 内海希風 塚田光太郎 稲葉由希
坂本舞衣 川津美緒 山本更 福嶋由輝
和栗颯樹 平出結菜 田中杏采 植田悠司
外林花穂子 渋谷侑生 大野香穂子 宮崎結衣
菊地原靖也 長島和 平松香乃 田代由貴
藤原義海 益満活之 本田悠真 宿谷英佑
渡部優哉 田中穂奏 碓田理人 瀧上澄晴
小山迅馬 市川遥唯 西本楓 後藤大翔
大野颯太 鳥居楓奈 山本陽菜 高橋研吾
齋藤彩 沼田佳音 堀池奏太 金見陽菜
星野楓香 村上芽衣 坂井啓太 岡田佳連
川崎裕仁 山村怜 近藤怜奈 山根穂之香
石井敦翔 小坂碧 竹内悠人 間野翔貴
徳原優衣 木村圭都 江原心優 米内樹里
長谷川旺央 白川鈴海 谷丸慈樹 安室佑真
寒河江ひまり 三島知隼 澤島杏凜 上川華乃絵

添釜園児茶席

大宮幼稚園では、神社の献茶式に合わせて、年長児による添釜園児茶席を開かせて頂いています。毎年、添釜担当支部交代で、今回は第6西支部のお茶の先生方いらして頂き、お茶の点て方・運び方など、おもてなしの心を教えて頂いています。

第1回目の練習

は去年の12月に、第2回目は2月下旬に行いました。お茶を点てる人・お運びをする人・お客様役の3つに分かれて練習をします。1回目の時は、みんな初めてで勝手が判らず、保育者も子供たちもバタバタしてしまい、何をすることもドキドキでしたが、先日の練習では保育時間中に復習したこともあり、「お菓子はどうぞ」などの言葉やお茶の点て方・お辞儀の仕方などが少しづつ身に付き始め、頑張っている姿が見られるようになりました。



又、余裕が出てくると「先生お茶の練習楽しいね!」「抹茶を飲むと風邪ひかないんだって」「苦くなくなつた!」「お菓子が可愛くて良いよね!」と、感想を話し、楽

どんぐり通信



しむ事が出来るようになりました。しかし、足を開いて座ったり、手を膝の上に置いていられず、顔を触つてしまったり、姿勢が悪くなつてしまふ時もあったので、「どうしたら気持ちよくお茶を飲んで頂けるのか」を考え、「すてきな時間を過ごせて良かった」と思つて頂けるよう、献茶式当日まで練習を重ねて、おもてなしの心を掴めるよう努力していきたいと思っています。

園児たちの練習風景を見て毎年思いますが、こんなに小さい頃から、お茶碗・茶筌・お懐紙など、至て本物に触れさせて頂き、保育者だけでなく、色々な方々より沢山のことを学び、感じる事が出来る大宮幼稚園の子供たちは、豊かな感性を身に付けることが出来て幸せだと思います。



この様な経験をさせて下さる全ての方々に感謝し、5月14日(水)に行われる献茶式で、添釜園児茶席を開かせて頂きたいと思ひます。ぜひ皆様もお越し下さい。お待ちしております。

教諭 奥村佳代子

結婚式式者芳名(敬称略)

平成26年1月1日〜平成26年3月31日

田中健翔・江里 松隈弘孝・圭子
中条正邦・久美子 安部晃司・彩香
島村欣之・裕菜 浅野真誠・悠佳

武田その 菅原彩 望月晴貴 天野佐里名
井上史緒 朝野晴瑠 藤本瑞乃 吉野向眞
押尾和俊 高橋奏恵 花岡ひかり 山崎なな子
野村美沙妃 松岡祐太 田中遥人 鈴木日和香
勝野義浩 波木井優成 二宗結香 平沼優里
宮川万由 亀井拓海 荒木翔大 森田あかり
久保田真央 鈴木佐久汰 正岡蘭 安武杏
松原京花 岡田彩楓 高井海 半沢橙子
和泉日向花 永岩知浩 吉田馨 佐藤花
伊澤たお 徳井柳鷹 西山結真 半澤瑠唯
白石昇大 生澤琉真 石井悠太郎 磯崎勇仁
古磯美咲 鈴木麻衣 奥村帆希 石原作朗
福浦妃乃 石黒彩果 小田島輝 野中あさひ
田中彩愛 鈴木理愛 武藤綾汰 深澤杏
岩淵慎 加藤凜 土岐ひより 鈴木新
山本紗愛 林仁瑚 横田藍来 木村悠夏
北村陽奈子 植村美悠 津田明花 秋山紗里依
春谷美緒 永松華 近藤千紘 平禮
武田桃佳 矢野リコ 大谷莉央 矢島葵唯
庄司和樹 修二郎 松本葵奏 中島立樹
秋田谷友里 根金甚羽 田中柚衣 石山亜樹
澤田明依 寺本登太郎 野村優菜 神酒遼大
氏家陸 古下美月 細沼柚晴 小鷺優生
小島れい 鈴木優歌 佐藤月星 北澤怜奈
宗像里佐 岡田佳樹 宮代桃花 相原由弦
張谷圭 糸川心之亮 額綱明 中村理人
松尾知駿 大美賀風祐 齋藤翔 太田侑治
藤井杏奈 小田好華 林咲良 根本全
西真央寿 榎本有紗 北村太雅 清水田莉紗
小林玖遠 柴田寿々和 清水光采 赤塚舞那
上條宇海 三島佑太 遠藤一紗 瀬口冬真
岡本章義 古川桃愛 渡邊匠 坪本璃香
黒澤璃子 向井凜 千葉小晴 水高龍太
佐々木奏乃 古川和磨 松村碧真 川田彩純
佐野草菜 武田侑里奈 堀内頼樹 田形優衣
高山仁那 梅田篤 伊藤豪汰 二上小鉄
嶋田結衣 茂手木葵 那須千紗 春尾優綺
田中陽菜 諸星周 稲垣颯馬 小林花奈
上條杏莉咲 福島沙那 石川誠一 森本莉愛

寺田梨紗 松下珠子 寺野乃乃 鈴木圓子
寒河江瑛 岡本楓 小河原慶 石川真奈花
川原愛夏 山野蒼太 水野太陽 堂路未羽
伊藤颯人 安野あかり 小川真衣 児玉花
佐原悠介 大沢琉維 佐藤彩結 澤村莉王
太田明璃 平田愛菜 小塩侑成 栗原風彩
市毛大渡 坂本悠 加藤実侑 中村晴翔
本多灯 鈴木結衣 興津晴香 北村圭吾
品川蓮 篠原快斗 田中千尋 齊藤奏
伊藤友梨 小野夏芽 中尾文音 齊藤花音
石井勇輝 吉波樹希 高津舞風 浅香侑以
小池利実 井口環太郎 森田楓実 菊池遼登
阿部美由子 小島明衣奈 町野まきの 阿部友彰
利根川和花 佐藤真啓 紀平桃花 桑原唯杏
菊地理子 水越美結 小山智輝 杉山貴保
山城大輝 廣瀬優花 小島和 小笠原悠
本田真一郎 丸山知紗 松山智咲 石井優丞
片桐草乃 近藤良 中嶋雪菜 井村俊葵
山崎仁乃 根岸愛莉 立川結心 上野ひなた
小田結映麻 渡邊晴斗 油谷大晴 城間朋弥
今井美沙希 細洲康希 西畑直音 瓜田晴香
栗田結衣 岩淵弘太 永井ゆめ 久慈理仁
武田郁乃 今村珠乃 中村春太 阿邊創
茅野紗希 尾澤怜 渡邊慶 菊地朝陽
勝呂恵也 高橋優奈 佐藤仁奈 山下遥子
宮本あさひ 服部湊 西賢人 菅間新
新藤あかり 北川絢大 古山なず菜 高橋慶吉
忍足恵那 青木咲里 菊池あおい 大山蒼太
鈴木心晴 佐々木駿 木村優太 殿畑遥人
玉田哲也 星野絢 中島新太 笹本美乃
松藤百香 芳賀崇祐 辻本佳純 長嶋柚季
徳丸あかり 田村悠翔 片桐幸月 生沼杜彩
小暮蒼太 松野陽臣 沖井美悠 坂井心太郎
木下晴輝 小坂敦樹 中川結月 平井健太
金子創祐 勝俣純斗 野野優希 渋谷太雄
菊地諒真 打越ひさ希 登坂和湖 筒井莉奈
高屋敷遥 打越ひさ希 森田陽菜 竹中真緒
石河溪冬 小嶋琉大 森田陽菜 竹中真緒
石岡勇人 佐野将梧 内山天喜 大泉沙和

祝 七五三詣

七五三衣裳展示会7月7日より

毎日朝10時～夕方5時まで開催

七五三年齢表

七歳 女兒	平成 20 年生
五歳 男児	平成 22 年生
三歳 男・女児	平成 24 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

澁谷暖 相澤もも 八尋幸成 石川伶奈
佐藤舜 村田楓佑子 中尾樹 松浦瑛太
可児円香 今村太真 山下白功 片桐湊太
江崎晴香 松井真梨子 高橋理仁 高橋莉子
若林美結 江嶋仁慈 松田あかり 飯泉凜音
上杉龍矢 高橋一路 鈴木ルナ アドレ 高橋采未
古谷航基 橋本純仁 フラミンゴ 田中いと
新井仁子 稲場咲希 三木崇晴 野川碧波
阿久津弘貴 八枝陸央 吉田陽葵 吉田陽葵
苑田哲雅 亀卦川心 正田暖佳 青山悠希
手塚諄朗 田中悠仁 並木紗矢 田中悠翔
大内琥喜 森澤直樹 串間椿 田中悠翔
石松明利 西山宗佑 山本淳貴 泉颯真
高岩壮輔 高橋由季 白鳥遼太 佐藤翔一
平山義人 平野陽咲 平松佑依 鈴木弦
中村奏斗 岡田玲奈 後藤篤人
瀬尾耀人 佐々木宣維 新藤蒼天
古元彩絆 和田瑠子 清水あかり
矢代智ノ輔 安田晴登 阿南恵麻
山田結以 是久心香 針貝奏子

「幸福がえる守」のご案内

今年の新春より、新たにお目見えした「幸福がえる守」。が中に入っており、これに願いを込めて、無事に孵化（成就）するよう祈念されたお守りです。願い札に願意を記入し、たまごと共にお持ち下さい。無事に願意が叶いましたら、このたまごを清涼殿前の「撫でがえる石」に設置の「福和来箱」へお納め頂きます。



緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

初宮詣
集宴会

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳（ご会食）など承ります。

清涼殿

03(3312)7515

わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り(稚児健康祈願祭)〔3日〕

稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くの供奉が伴い巡行致します



こどもの祭り(稚児健康祈願祭) 産行



役員・総代に続き、りやう会役員らも



親手を取り、春麗らかな街中を進む

わかば祭り 第二日ノ儀 若葉 in おおみや(コンサート) 植樹祭〔4日〕



第二日ノ儀(金呂奉式者参列)



コンサート後、奉式者の集い



植樹祭(参列者に苗木配布)

わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



修祓を終え、宮司以下祭員ら社殿へと参進



国家安泰・五穀豊穡・氏子の繁栄を祈り祝詞奏上



巫女4員による神楽 浦安舞を奉奏



杉並太鼓奉納演奏〔4日〕



佼成学園吹奏楽部奉納演奏〔3日〕



古武道武技奉納〔3日〕

大 宮 第99号
平成26年 春の大祭号
平成26年5月1日発行
大宮八幡宮社務所

〒168-8570
東京都杉並区大宮2-3-1
電 話 (3311)0105 FAX(3318)6100
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp



雅太鼓奉納演奏〔5日〕



方南エイサー踊り〔5日〕

大祭期間中(3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されています。
また参道には露店が出ており、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われております。